

(参 考)

平成 15 年 6 月 15 日

拙訳ですが楽譜の日本語訳を載せておきます。

(ヤーコブ・ルートヴィヒ・)フェリックス・メンデルスゾーン (=バルトルディー)

ES WERDE LICHT ! (光あれ!)

男声合唱とピアノ (またはオルガン) のための

宗教祝典歌

(作詞: ヘルベルト・フォッグ)

編曲: ゲルハルト・トラック

1840 年にフェリックス・メンデルスゾーン = バルトルディーが作曲した祝典カンタータ: „Es werde Licht!“ 「光あれ!」は、当初「印刷術百年祭(\*)の祝典歌」というタイトルの作品であったが、男声合唱と管弦楽のための「祝典歌:(ゲーテンベルク・カンタータ)」「ゲーテンベルク印刷術については注 1 参照)とも呼ばれている。また、第二楽章の旋律は英国や米国で親しまれているクリスマスキャロル:「歌詞原作者チャールズ・ウェスリー(1739 年) 改訂者ジョージ・ホイットフィールド(1753 年) 更に 1850 年当時の歌詞にウィリアム・カミングスが編曲した“Hark, The Herald Angels Sing”(日本基督教団 1954 年版賛美歌 98 番『あめにはさかえし』、日本福音協会聖歌 123 番『聞けや歌声』)」「このクリスマスキャロルについては注 2 注 3 参照)に使われている。尚 このキャロルには他にも数え切れないほどの歌詞や編曲がある。

ゲルハルト・トラックは 28 年間(1958 年~1986 年)米国に在住、このカンタータのオリジナル・コピーを見つけ、例のクリスマスキャロル(“Hark, The Herald Angel Sing”)の旋律が「ゲーテンベルク・カンタータ」の第二楽章と同一であることに気付き、先ずヘルベルト・フォッグ博士にカンタータのためのクリスマス(降誕祭)向けの作詞を依頼した。

フォッグ博士は、第三楽章冒頭の詞(ことば): „Der Herr, der sprach: Es werde Licht!“ (神は言われた。「光あれ。」)をその俚にして、宗教祝典カンタータを書いたが、その結果、クリスマス・シーズンだけでなく、一年中上演可能な祝典作品になっている。

(\*) Säkularfeier は「百年祭」の意味だが、säkular 単独では「一世紀に一度の、百年ごとの」という意味だから、正確には「百年ごとの祭典」。メンデルスゾーンが依頼を受けたのは四回目の祭典だから四百年祭。

管弦楽の編成:

フルート 2 オーボエ 2 クラリネット 2

ファゴット2 ホルン2 トランペット2  
チューバ ティンパニー 弦楽器

・ CHORAL コラル (16世紀初頭のルターによる宗教改革で一般市民の啓蒙目的としてつくられた、プロテスタントの会衆が歌う讃美歌。衆讃歌ともいう。)

M: „Es ist das Heil uns kommen her“, Nürnberg 1523;

メロディー: 「救いは我らに來たれり」;(ニュールンベルク 1523年)

T: nach Johann Jakob Schütz (1640 - 1690)

歌詞: ヨハン・ヤーコプ・シュッツ (1640 - 1690) 作詞のものに拠る。

Sei Lob und Ehr' dem höchsten Gut,  
Dem Vater aller Güte,  
Dem Herrn, der alle Wunder tut,  
Dem Herrn, der mein Gemüte  
Mit seinem reichen Trost erfüllt,  
Und allen unsern Jammer stillt.  
Gebt unserm Gott die Ehre.

いと高き天の神に讃美と栄光を  
真に慈悲深い父に讃美と栄光を  
あらゆる奇跡を行う、主に讃美と栄光を  
慰めをもって、私の心を満たし、  
我々のあらゆる苦痛を癒す、  
主に讃美と栄光を。  
我らの神に栄光あれ。

Was unser Gott geschaffen hat,  
das will er auch erhalten,  
darüber will er früh und spat  
mit seiner Güte walten.  
Darum mein Herz ermuntre sich  
und juble laut und preise dich  
Gebt unserm Gott die Ehre.

我らの神が造り給えしものは、  
彼(神)もこれを守り、  
朝な夕な(いつも忘れずに)  
慈しみ深い目をもって、統べ治める。  
それ故、私の心は生気に満ち溢れ、  
歡喜の声高らかに、あなたを誉め讃える。  
我らの神に栄光あれと。

・ LIED (リートは歌曲、特にドイツ歌曲の意味として日本では使われるのが一般だが、ここでは詠唱とでも言うのだろうか?そして意味するところはカトリックのミサやプロテスタントの礼拝に於ける詩篇朗唱等に相当するのだろうか?)

歌詞の主題は旧約聖書の創世記6章「洪水」~9章「祝福と契約」。尚 新約聖書のマタイによる福音書27章46節「イエスの死」の有名な成句を思い出させる詞(ことば)が歌詞2番の1~2行目に現れる。

また3番の歌詞を読むと、私の思い過ごしかも知れないが、このリートから、イスラエルの民すなわちユダヤ民族讃美の声が、聞こえて来るような気がする。因みにメンデルスゾーン一族はモーゼス・メンデルスゾーン(作曲家フェリックスの祖父で、哲学者、宗教改革者、文学者などマルチタレントとして、一世を風靡し、当時のヨー

ロッパ全土で、最も著名なユダヤ人であった。)を祖とする、文化面に於けるロスチャイルド家と称される、名門のドイツ系ユダヤ・ファミリー(1939年に閉鎖されるまで、ベルリンに於ける主要民間銀行であったメンデルスゾーン銀行も所有)である。  
(参考文献:東京創元社発行ハーバート・クッファール著 横溝亮一訳「三代のユダヤ人 - メンデルスゾーン家の人々」1985年初版)

編曲のトラック氏(ウイーン在住)も作詞のフォッグ博士もユダヤ系ではないだろうか。

Wenn der Herr die Sintflut sendet,  
wenn die sünd'ge Menschheit stirbt,  
wenn in Wasserflut verdirbt,  
was vom Schöpfer ab sich wendet,  
spricht der Herr: Mein Treuebund,  
segnet neu das Erdenrund.

主が大洪水を齎すと、  
罪を犯した人類は死滅し、  
洪水によって、造り主に背く  
諸々のものが、絶滅するとき、  
主は言われる。「忠実な僕と契約を  
結び、新たに地球を祝福する」と。

Wenn am Kreuze der Gerechte  
schreit: Warum verläßt du mich?(\*)  
Wenn des Menschen Würde sich  
krümmt im Ansturm böser Mächte,  
spricht der Herr: Ich halte Wort.  
Du wirst leben fort und fort.

十字架上で義人が、「何故あなたは私をお見捨てになるのですか?」と、大声で叫ぼうとも、人間の尊厳が悪の力に屈服しよう(人間が魂を悪魔に売り渡そう)とも、主は言われる。「私は約束を守るから、あなた(人間)は未来永劫滅び去ることはない」と。

Wenn du zweifelnd aufbegehrt:  
Sieht das Gott und läßt's geschehen?  
Wenn du wütest, dich empörst:  
Wo ist Gott? Ich kann's nicht sehen!  
ist's, der uns in Händen hält,  
und er spricht das Segenswort:  
Du wirst leben fort und fort.  
Du wirst leben fort und fort.

あなたが、「神は、見ているだけで、何も  
しないのか?」と、神を疑い、逆らっても、  
あなたが、「神は何処におられるのだ?私  
には何も見えぬ!」と、怒り、憤激しても、  
彼(神)は、わが民を選び、  
わが民を統べ治められる、そしてその神は、  
祝福の言葉を述べられる。「あなたは、  
未来永劫滅び去ることはない」と。

(\*) マタイによる福音書 27 章 46 節:

(ルーテル聖書) „Und um die neunte Stunde schrie Jesus laut: Eli, Eli, lama, asabtani? Das heißt: Mein Gott, mein Gott, warum hast du mich verlassen?“ („DIE BIBEL nach der Übersetzung Martin Luthers“から引用。)

( 1611 年版英国欽定聖書 ) "About the ninth hour Jesus cried with a loud voice, saying, Eli, Eli, lama, sabachthani? That is to say, My God, my God, why hast thou forsaken me?"

( die neunte Stunde と the ninth hour は、「第 9 時課」のことで、午後 3 時頃行う聖務日課の一つ。)

( 新共同訳聖書 ) 三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

. LIED ( リートの意味は に同じと理解。)

歌詞は旧約聖書の創世記 1 章 ( 天地創造 ) に基づいている。

Der Herr, der sprach. Es werde Licht!  
Er hat sein Wort gegeben,  
daß wir in Mut und Zuversicht  
in seiner Schöpfung leben.

主は言われた。「光あれ！」と。  
また 彼 ( 主 ) は約束された。  
私たちが、勇気と自信をもって  
主の造られた世界で、生き続けることを。

Das Licht, das seine Liebestat  
in dieser Welt entzündet hat,  
entflamme unsre Herzen.

この光は、主の愛のなせる業  
この世界で灯された、  
私たちの心を燃え立たせようと。

Sagt Lob und Dank dem Schöpfergeist,  
der uns des Lichtes Wege weist.  
Lob sei und Preis der Liebestat,  
die dieses Licht entzündet hat.  
Durch alle Zeiten fort und fort  
entflamme uns des Herren Wort.

褒め称えよ 感謝せよ 造り主の御業を、  
光が、私たちの進むべき道を指し示す。  
讚美と賞讃を 主のなせる愛の御業に、  
それが、この光を灯してくれた。  
( 全時代を通して ) いついかなる時にも、  
私たちが、主の約束を忘れぬようにと。

Sagt Lob und Dank dem Schöpfergeist,  
der uns des Lichtes Wege weist.  
Durch allen Raum und alle Zeit  
wirket sein Wort in Ewigkeit.

褒め称えよ 感謝せよ 造り主の御業を、  
光が、私たちの進むべき道を指し示す。  
( 全時代全空間を通じて ) いつでも何処で  
も、主の約束は永久に効力を失わない。

Wir, aus der Nacht zum Licht befreit,  
sehen der Schöpfung Herrlichkeit!  
In unsre Hände legt sein Wort  
der Schöpfung Herrlichkeit!

私たちは、光のお蔭で夜から解放され、  
( 初めて ) 創造 ( 主の御業 ) の栄光を見る。  
主の約束は、私たちの手に委ねられる。  
創造に栄光あれ !

So schöpft aus seinem Worte Zuversicht  
und wagt es voller Mut und Zuversicht  
und spricht mit Gott: Es werde Licht!  
Es werde Licht!

主の約束が（百人力、千人力の）自信となり、それが、満ち溢れる勇気と相俟って、神と共に唱える。「光あれ！」  
「光あれ！」と。

. CHORAL コラール

M : Johann Crüger, 1647 ;

メロディー : ヨハン・クリューガー、1647 年

T : Martin Rinkart ( 1586 - 1649 )

歌詞 : マルティン・リンカルト ( 1586 - 1649 )

Nun danket alle Gott  
mit Herzen, Mund und Händen, (\*)  
der große Dinge tut  
an uns und allen Enden,  
der uns von Mutterleib  
und Kindesbeinen an  
unzählig viel zu gut  
bis hierher hat getan.

さあ、みんな揃って、心を込めて、声張り上げ、手を合わせ、神に感謝の祈りを捧げよう。神は、私たちは勿論のこと、至るところで、不思議な御業を行い、更に、私たちが母の胎内にいる時から今日までずっと、私たちに数知れぬほどの祝福をお与え下さいました。

Der ewig reiche Gott  
woll uns bei unsrem Leben  
ein immer fröhlich Herz  
und edlen Frieden geben,  
und uns in seiner Gnad,  
erhalten fort und fort  
und uns aus aller Not  
erlösen hier und dort.

いつの世でも惜しみなくお与えになる神よ、私たちの命のある限り、私たちの心を、いつも喜びと安らぎで満たして下さい。また 神の慈しみ深い御心をもって私たちを、末永くお守り下さい。そしてあらゆる苦難から私たちをお救い下さい。

(\*) キリスト教では、人間が神に崇敬の念を表明する行為を、カトリックでは「ミサ(聖祭)」、プロテスタントでは「礼拝」と呼ぶ。また 祈り(祈祷)が礼拝・ミサの基本であって、カトリック、プロテスタントを問わず、最重要といっても過言ではない。従って、私は心・口・手を祈りの表現手段と考えたい。

心は言うに及ぶまい。口は言葉を発する器官から「声」に繋がる。手には「合掌」「手を合わせて拝む」などがある。

キリスト教でも、既に 12 世紀末には「祈りの姿勢」を 7 態に区別する学者もいた。そして 11・12 世紀には、指を伸ばした両手を胸の高さで合わせて両膝を地面につける跪拝が、西方キリスト教独自の祈りの姿勢として普及し、神に捧げる個人的な祈りの姿勢としてふさわしいと考えられるようになる。

(引用文献：ちくま学芸文庫「池上俊一著 身体の中世」2001 年第 1 刷；岩波書店発行 新日本古典文学体系 明治編 12「新体詩 聖書 讃美歌集」2001 年第 1 刷)

誤訳、見当違い、思い込みに過ぎるところなど多々あると思いますが、ご容赦下さい。また お気づきの点がありましたら、ご連絡下さい。

尚 注 1～注 3 などは別に纏めたものを、後日 用意致します。 以上 (末 木)

